

若年性認知症講演会

地域住民 対象

明日、あなたが『若年性認知症』と診断されたら、どうしますか？ 今の仕事は、家庭は…どうなっていくのだろうと悩むはずです。現在、広島市内には、『若年性認知症』と診断された方が約 600 人といわれています。他人事だと思っていなくても、明日、関わるかもしれない問題なのです。当事者・家族が何を望まれているのか、一人の地域住民として何ができるのか、介護予防や地域づくりの第一線で活躍されている講師による講演会です。

ご自身の生き方にもヒントが見つかるかもしれません。お待ちしております！

日 時：平成 30 年 3 月 19 日（月）13：00～14：30

会 場：広島市西区地域福祉センター3F 大会議室

講 師：石黒秀喜氏（元長寿社会開発センター理事・老い支度クリエイター）
酒井 保氏（ご近所福祉クリエイター）

テーマ：わかる認知症支援／自助と互助をつなげる話

定 員：100 名（申込み先着順）※お断りする場合のみご連絡します

内 容：『上手に老いるための自己点検ノート』を監修されたことで有名な石黒先生と、『「見守り活動」から「見守られ活動」へ』の執筆をされた酒井先生を講師にお迎えし、それぞれの活動経験から、地域支援のあり方をわかりやすくお話いただきます。

申込〆切
3/12(月)

主催

若年性認知症の本人家族の地域生活支援を考える会（認知症カフェ わ・おん）

共催

広島市西区厚生部健康長寿課

後援

広島市西区社会福祉協議会 ／ 広島市古田地域包括支援センター

お 申 込 み

※必要事項をご記入の上 **082-824-8124** まで **FAX** でお申込みください※

ご氏名	連絡先
	TEL() —
	FAX() —